

【論文】

# 読み聞かせボランティア活動の実践と学生の成長 ～学生のアンケート調査分析を通して（その2）～

梅野 智美<sup>1</sup> 湊田 萌<sup>2</sup>

## 1. はじめに

表現学科情報司書フィールド（以下、情報司書フィールド）は2004年より特別養護老人ホームや保育所などでボランティア活動を行っている。このことは、『九州大谷研究紀要』第47号（以下、九谷紀要第47号）で報告した（注1）。今号は、九谷紀要第47号発行後の学生によるボランティア活動のアンケート調査報告である。しかしながら、令和2年4月7日から5月6日までの期間、福岡県では「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が発出され、公共機関、学校等が臨時休館、休校となった。その後も、地域における諸々の活動は原則中止や延期で自粛となった。このような状況下でボランティア活動も中止を余儀なくされた。

令和2年10月8日、福岡県は「福岡コロナ警報」を解除した。それに伴い地域の活動も再開され情報司書フィールドもボランティア活動を行うことが可能となった。

今号は、前述した九谷紀要第47号発行後の学生によるボランティア活動報告に加え2021年度入学者（現1年生）のボランティア活動についてのアンケート調査報告である。また、ボランティア活動が司書を目指す学生たちにとって、司書としての自覚を培い、人に寄り添いながら共感し、自らの学びを深め人として成長できることをアンケート調査により可視化したと考える。

---

1 九州大谷短期大学表現学科

2 九州大谷短期大学図書館司書

## 2. 調査方法

### (1) 調査対象者

調査対象者は、情報司書フィールドの2年生（2019年度入学）13名（卒業生）、1年生（2020年度入学）14名。2年生（2020年度入学）14名。1年生（2021年度入学）13名。アンケート調査は倫理的配慮として、本研究の目的以外に使用しないことを説明し、また無記名とした。

### (2) 調査期間

2020年6月～2021年4月

### (3) 調査内容

アンケート調査は、卒業生（2019年度入学）13名は、2年生後期の1月に行った。10項目を、「良かった」から「良くなかった」の5件法と「大いに思う」から「思わない」の4件法及び7項目の自由記述の質問事項とした。

2020年度入学者は、1年生の6月に1回目のアンケート調査を行った。9項目を、「大いにある」から「まったくない」の4件法及び6項目の自由記述の質問事項とした。2年生の4月に2回目のアンケート調査を行った。9項目を「良かった」から「良くなかった」の5件法と「大いに思う」から「思わない」の4件法及び6項目の自由記述の質問事項とした。

2021年度入学者は、1年生の4月に1回目のアンケート調査を行った。9項目を、「大いにある」から「まったくない」の4件法及び6項目の自由記述の質問事項とした。

## 3. アンケート調査結果

アンケート調査の質問項目に対する回答結果は以下の通りである。

### ◆2年生（2019年度入学）2021年1月に実施（3回目）

2年間のボランティア活動を経験している。

1. 2年間のボランティア活動に参加して良かったですか？

「良かった・どちらかと言えば良かった」と回答したのは100%（13人）、2年生全員ボランティア活動に参加して良かったと回答した。

		回答人数	回答数／回答人数
1	良かった	4	30.8%
2	どちらかと言えば良かった	9	69.2%
3	どちらとも言えない	0	0.0%
4	どちらかと言えば良くなかった	0	0.0%
5	良くなかった	0	0.0%
合計人数		13	100.0%

2. 1で「良かった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「色々な人と触れあえて楽しかった」「ボランティアを今までしたことがなかったので良い経験になった」「今まで小さい子などに触れ合うことがなかったので新鮮な経験ができた」「人の優しさに触れられたこと」などの回答であった。ボランティア活動を経験したことのない学生たちにとって、このような経験は得難いものであったようだ。また、小さい子ども（園児）たちと接した経験、人の優しさに触れられた経験は、社会人となり司書として働くうえで利用者と接する際の自信やコミュニケーション力の向上に繋がるのではないかと考えられる。

3. 1で「良くなかった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

記述なしであった。

4. 今後もボランティア活動を続けますか？

「はい」は84.6%（11人）。「いいえ」は15.4%（2人）。ほとんどの学生たちはボランティア活動を続けたいと回答している。つまり、社会人になってもボランティア活動を続けたいと思っている。

		回答人数	回答数／回答人数
1	はい	11	84.6%
2	いいえ	2	15.4%
合計人数		13	100.0%

5. 4で「はい」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「自分の人生の糧にしていきたいから」「人の笑顔を見たいから」「人との関わりを大事にしたいから」「自分の力になるし成長できる」「自分にとって良い経験になる」「楽しいと思えたから」などの回答であった。

ボランティア活動は人との関わりが大切で、人の手助けや社会に貢献する活動である。司書の仕事も人との関わりが大切で、利用者の要求に応じたサービスを行う。学生たちはボランティア活動を通して、自分の成長はもとより人の役に立ちたい、人との関わり大切さなどを学んだのではないかと考える。

6. 4で「いいえ」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

記述なしであった。

7. ボランティア活動はこれからの社会人生活に役立つと思いますか？

「大いに思う・思う」と回答したのは100%（13人）、2年生全員がこれからの社会人生活に役立つと考えている。

		回答人数	回答数／回答人数
1	大いに思う	5	38.5%
2	思う	8	61.5%
3	あまり思わない	0	0.0%
4	思わない	0	0.0%
合計人数		13	100.0%

8. 7で「思う」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「他人との関わりは重要だから」「今まで感じなかったことをボランティアで得る事ができたから」「社会性や人のために動く力を身につけられるから」「様々な年齢の方と触れ合うことができるから」「ボランティアで培ったコミュニケーションはいろんな場面で役に立つと思うから」「人の為になる行動は社会でも役に立つから」などの回答であった。この学年は、入学当初からボランティア活動に関心がある学生たちがほとんどで、ボランティア活動を好意的に受け止めていた（注2）。2年間のボランティア活動を終えて、社会人生活に役立つと全員が回答したことから分かるように、ボランティア活動を通して、人のために自分の出来ることを実践するという社会性が培われたことが考えられる。

9. 7で「思わない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

記述なしであった。

10. あなたにとってボランティア活動とは何でしたか？（自由記述）

「様々な人との出会い」「新鮮な経験」「経験の場、学びの場」「交流の場、自分の価値観を壊す場」「社会貢献と自身の学び」「いろんな事を経験できて、自分自身を成長させる活動」「人との関わりをととても大切にもの」「新しい発見がある場」などの回答であった。

この学年は、2年生の4月に「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が発出され解除後は、「福岡コロナ警報」が発動されボランティア活動の機会が失われた。実質1年時に行ったボランティア活動だけとなったにもかかわらず、アンケート調査からは、ボランティア活動に対する意識が非常に高い事が感じられた。ボランティア活動は人との関わりであり社会に貢献する場である。司書の資質は、本が好きだけでは務まらない。人も好き、人と関わる事が好き、何より人とのコミュニケーション力が大切なのである。学生たちは、ボランティア活動を通して、人との出会いや経験、

交流、学びを深め、自分を成長させる場であると捉えている。

◆1年生（2020年度入学）6月に実施（1回目）

1. ボランティア活動に関心がありますか？

「大いにある・ある」と回答したのは92.9%（13人）、「あまりない」と回答したのは7.1%（1人）であった。ほとんどの学生たちは、ボランティア活動に関心があると回答している。

		回答人数	回答数／回答人数
1	大いにある	2	14.3%
2	ある	11	78.6%
3	あまりない	1	7.1%
4	まったくない	0	0.0%
合計人数		14	100.0%

2. 1で「ある」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「人との交流など社会経験のひとつとして学べると思うから」「人の役にたちたい」「自分の成長と人助けに繋がるから。様々な経験をすることで、それまで知らなかったことを知れるから」「ボランティア活動を通して、沢山のの人々とコミュニケーションをとることができるから」「人と関わることが好きだから」「以前した時にやりがいを感じたから」などの回答であった。

3. 1で「ない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「学校やアルバイトでボランティアに割く時間の確保が難しいため」との回答であった。

4. ボランティア活動をしたことはありますか？

「ある」と回答したのは100%（14人）であった。

		回答人数	回答数／回答人数
1	はい	14	100.0%
2	いいえ	0	0.0%
合計人数		14	100.0%

5. 4で「ある」と答えた人はどのようなボランティア活動をしましたか？

(自由記述)

「高校生の時に地域の花火大会の後のゴミ拾い」「町のゴミ拾い」「老人ホームのボランティア」「地域清掃、マラソンの水分補給地点での手伝い」「水の祭典のボランティア、つつじ祭り」「募金活動」などの回答であった。

6. 4で「ない」と答えた人は理由は何ですか？(自由記述)

全員がボランティア活動の経験者であったため記述なしであった。

7. ボランティア活動をしたいと思いますか？

「大いに思う・思う」と回答したのは100% (14人)、1年生全員ボランティア活動をしたいと思っている。

		回答人数	回答数／回答人数
1	大いに思う	1	7.1%
2	思う	13	92.9%
3	あまり思わない	0	0.0%
4	思わない	0	0.0%
合計人数		14	100.0%

8. 7で「思う」と答えた人は理由は何ですか？(自由記述)

「時間があればやりたいと思っているから」「苦手な人とのコミュニケーションをボランティア活動を通して少しでも克服したいと思うから」「人の役にたちたい」「自分の能力を高めたいから」「多くのことを学びたいから」

ら」「様々な人と関わりが持てるため社会勉強になると思ったから」「やりがいがあるから」「ボランティア活動をすることで、達成感や人との関わりができるから」などの回答であった。このような回答から、ボランティア活動は学生にとって苦手意識を克服する場であり、多くのことを学ぶやり甲斐を感じる活動であることが考えられる。

## 9. 7で「思わない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

記述なしであった。

### ◆2年生（2020年度入学）4月に実施（2回目）

#### 1. 1年間のボランティア活動に参加して良かったですか？

「良かった・どちらかと言えば良かった」と回答したのは64.2%（9人）、  
「どちらとも言えない」と回答したのは35.7%（5人）であった。2年生の半数は、1年生時に「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が発出されたことにより、ボランティア活動の中止を余儀なくされた。そのため、「どちらとも言えない」と回答した学生が3割強になったと考えられる。

		回答人数	回答数／回答人数
1	良かった	8	57.1%
2	どちらかと言えば良かった	1	7.1%
3	どちらとも言えない	5	35.7%
4	どちらかと言えば良くなかった	0	0.0%
5	良くなかった	0	0.0%
合計人数		14	100.0%

#### 2. 1で「良かった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「司書を目指す上で園児たちと触れあうことはいい経験になったと思ったから」「今後に生かすことができる経験ができたから」「園児たちに実際読み聞かせをしていい体験ができたと思ったから」「人の役に立ち交流経



験等をつけたから」「ボランティア活動を通して人と関われる時間はとても良いものだったから」などの回答であった。前述したように、2年生の半数は1年生時に「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が発出されたため、ボランティア活動の中止を余儀なくされた。ボランティア活動を経験した学生は貴重な学びであったことが考えられる。

3. 1で「良くなかった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）  
記述なしであった。

4. 今後もボランティア活動を続けますか？  
「はい」と回答したのは92.9%（13人）、「いいえ」と回答したのは7.1%（1人）であった。

		回答人数	回答数／回答人数
1	はい	13	92.9%
2	いいえ	1	7.1%
合計人数		14	100.0%

5. 4で「はい」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）  
「ボランティア活動で沢山の人と触れあうことで新たな発見があると思うから」「人の役に立てたと明確に実感できるから」「コロナの影響で難しいとは思いますがもう一度やってみたいと思ったため」「役に立つことができるから」「他人のためだけではなく、自分のためにもなると思うから」「経験を長く続けることで能力を伸ばすことができるから」などの回答であった。

6. 4で「いいえ」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）  
記述なしであった。

7. ボランティア活動はこれからの学生生活に役立つと思いますか？

「大いに思う・思う」と回答したのは100%（14人）、2年生全員がボランティア活動はこれからの学生生活に役立つと思っている。

		回答人数	回答数／回答人数
1	大いに思う	9	64.3%
2	思う	5	35.7%
3	あまり思わない	0	0.0%
4	思わない	0	0.0%
合計人数		14	100.0%

8. 7で「思う」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「人との出会いがこれからの人生に役に立っていくと思うから」「学校内という限られた空間での関わりが多い中、ボランティアをやることでコミュニケーション能力を培うこともできると思ったため」「特に司書になる上で、絵本の読み聞かせなどは切っても切り離せない関係にあると思ったため」「ボランティア活動では、初対面の人と関わることも多いと思うので、コミュニケーション能力などが向上しそうだから」「学生時代のボランティアは、貴重な経験にもなるし就職活動にも役立つから」「ボランティアを通して人と関わることの楽しさ達成感は学生の成長に役に立つから」「自信に繋がると思うから」などの回答であった。

2年生全員がボランティア活動はこれからの学生生活に役に立つと考えている。更に、人との出会いはコミュニケーション能力の向上、自分の成長に繋がるなど肯定的な意見が多く見られた。

9. 7で「思わない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

記述なしであった。

◆1年生（2021年度入学）4月に実施（1回目）

1. ボランティア活動に関心がありますか？

「大いにある、ある」と回答したのは69.2%（9人）、「あまりない、まったくない」と回答したのは30.8%（4人）であった。

		回答人数	回答数／回答人数
1	大いにある	1	7.7%
2	ある	8	61.5%
3	あまりない	3	23.1%
4	まったくない	1	7.7%
合計人数		13	100.0%

2. 1で「ある」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「社会に貢献できるから」「人の役に立ちたいから」「ボランティア活動を通して何か貢献できればと思ったから」「様々な人と関わりを持てるから」「学生のうちに何かしたいと思っていたから」などの回答であった。

3. 1で「ない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

記述なしであった。

4. ボランティア活動をしたことはありますか？

「ある」と回答したのは61.5%（8人）。「ない」と回答したのは38.5%（5人）であった。

		回答人数	回答数／回答人数
1	ある	8	61.5%
2	ない	5	38.5%
合計人数		13	100.0%

5. 4で「ある」と答えた人はどのようなボランティア活動をしましたか？  
（自由記述）

「福岡マラソンのお手伝い、地域の清掃、除草作業」「ゴミ拾い」「地域の方々とボッチャをした」「自転車の交通安全の指導のサポート、障害者の方々と体育館で運動会をした」などの回答であった。

6. 4で「ない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「部活動が忙しかった」「機会がなかったから」との回答であった。

7. ボランティア活動をしたいと思いますか？

「大いに思う・思う」と回答したのは84.6%（11人）、「あまり思わない」と回答したのは15.4%（2人）であった。

		回答人数	回答数／回答人数
1	大いに思う	1	7.7%
2	思う	10	76.9%
3	あまり思わない	2	15.4%
4	思わない	0	0.0%
合計人数		13	100.0%

8. 7で「思う」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「出来そうな事があったら良い経験になるから」「学生のうちに何かしたいと思っているから」「役に立ちたいと思うから」「人の役に立てるから。人の為に何かをするのが好きだから」「人の為になるならやってみたい」「楽しそうだから」「様々な人と関われるいろいろな事を体験できるから」「少しでも社会貢献したい」などの回答であった。

このように人の役に立ちたい、何かにチャレンジする、またボランティア活動に意欲的なことは司書の精神に通じるところがある。なぜなら司書は、利用者に対してどのようなサービスを提供出来るか、常に何事にも好

奇心や探究心をもって仕事をするのが求められるからである。

#### 9. 7で「思わない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

記述なしであった。

### 4. ボランティア活動の教育効果

司書の仕事は、図書館で扱う資料の選択や発注、受入、分類、目録の作成、利用者への貸出、資料の案内、図書館によるイベント等の企画、テーマに沿っての本の紹介、年齢別による読書案内に至るまで多岐にわたっている。その中でもっとも大事な職務の一つに利用者の質問に回答するレファレンスサービスがある。日頃よりレファレンスサービスを行う司書にとってボランティア精神は必要なものであると筆者たちは考えている。そこで、本学のボランティア活動から見えてくる教育効果を考える。

- ①授業で修得した事を実践できる
- ②コミュニケーション力がつく
- ③仲間との協力
- ④自己効力感を育む
- ⑤奉仕精神力がつく
- ⑥課題探求力・課題解決力を身につける

一つ目は、授業で修得した絵本の読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター、影絵などを実践できることである。これらは児童サービスの大きな柱を担い、子どもが本に親しむきっかけをつくることもある。熟練と経験が要求されるもので、ボランティア活動の場が経験を積む場にもなる。人前で披露することで、手応えや改善点を見出すことができ、より一層自分のものにできると考える。

二つ目は、コミュニケーション力である。多様な人々と関わり触れあう

ことでコミュニケーション力が身につく。公共図書館では日常的に、子どもから高齢者まで幅広い世代と関わる。形式的なやり取りだけではなく、交流を持つことも図書館の窓口としての司書のスキルとして少なからず求められる。

三つ目は、仲間との協力である。パネルシアターや影絵は友人や仲間と協力しながら一つの作品を作り上げることで協調性も育つ。また、役割を分担することで個々の仕事に対する責任能力も生まれる。これは社会に出る学生たちにとって必要な力と考える。

四つ目は、自分に自信がない学生は、他人から喜ばれ褒められ感謝されることによって自分は人の役に立っていると感じ自己効力感を育む。

五つ目は、ボランティア活動は基本的に無償で見返りを求めない活動である。そのような活動を行うことで奉仕精神が身につく。

六つ目は、仕事や利用者の質問に対して自発的・主体的に自分の意思で課題の解決に向けて行動する力が身につく。司書は利用者に対してどのようなサービスを提供できるか常に模索しなければならない。利用者サービスにおいて個々の情報ニーズを満たし、自己充足や自己学習に繋げていくためには、何事も好奇心や探求心を持つことが重要である。課題解決のための奉仕精神が磨かれれば、利用者が求める答えだけに留まらず一歩先の情報提供ができると考える。

このようなことからボランティア活動を通して、机上だけでは学べない実践的な学びを身につけることができると考えられる。

## 5. 考察

ボランティア活動アンケート調査（以下、アンケート調査）は、情報司書フィールドの2019年度入学の学生から2021年度入学の学生を対象に行ったものである。2019年度入学の学生は2年間の学生生活の中で、2020年度入学の学生は1年半の学生生活の中でのボランティア活動である。2021年度入学の学生は大学に入ってボランティア活動を行っていないが、高校生

までに6割の学生はボランティア活動を経験している。

2019年度入学の学生は、2年間のボランティア活動を経験してのアンケート調査であるが、冒頭で前述したとおり、「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が発出され、ボランティア活動の中止を余儀なくされた。その後、福岡県は独自の「福岡コロナ警報」を発動し2ヶ月後解除された。それに伴い地域の活動も再開されボランティア活動も可能となった。このような状況下であったが、2年間のボランティア活動を経験してのアンケート調査では「参加して良かった・どちらかと言えば良かった」と回答した学生は100%（13人）である。ボランティア活動はサークル活動の一環であるが、学生の空き時間を利用し限られた時間の中で行っている。更に過密スケジュールにもかかわらず2年生全員が「参加して良かった・どちらかと言えば良かった」と回答したことは学生にとって良い経験であり深い学びであったことが考えられる。

2020年度入学の学生は、入学後のアンケート調査でボランティアに関心がある学生は92.9%（13人）、ボランティア活動をしたいと思う学生は100%（14人）と高い割合であった。一方で、2年生になってのアンケート調査では、「良かった・どちらかと言えば良かった」と回答した学生64.2%（9人）、「どちらとも言えない」と回答した学生35.7%（5人）と低い割合であった。「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が発出されたことにより、ボランティア活動は中止を余儀なくされた。それに伴い半数の学生はボランティア活動の機会を失い低い割合になったと推測する。その後、ボランティア活動を再開することが可能となった。ボランティア活動に参加した学生の感想は、「距離を保つために、保育所のイベントホールで行いました。園児たちも久しぶりのお話会で静かに耳を傾けてくれた」「紙芝居を演じました。園児たちがあまりにも静かに聴いてくれたので驚きました」「園児たちがパネルシアターに元気よく反応してくれた」など自分たちが演じた読み聞かせ等に、園児たちが反応してくれたことに喜びを感じている。

2021年度入学の学生は、ボランティア活動に関心がある学生69.2%（9人）、あまり関心がない学生は30.8%（4人）と3割の学生はボランティア活動に関心がないと回答している。また、ボランティア活動をしたいと思わない学生は15.4%（2人）。ボランティア活動をしたことがない学生が38.5%（5人）。約4割の学生はボランティア活動をしたことがないことから、関心がない学生の割合が高いのだろう。これは経験することで考えが変わるであろうと推測する。次のアンケート調査を行う際には、ボランティア活動を経験しているので関心の割合に変化があるだろうと推測する。

国立青少年教育振興機構は、4年制大学および短期大学の学生を対象に、「大学生のボランティア活動等に関する調査」を実施している（注3）。そのアンケート調査で、ボランティアに参加した動機についての質問に「自分の成長につながったから」「さまざまな人間と関わりたかったから」「楽しそうだったから」活動に参加してよかったことは、「ものの見方、考え方が広がった」「楽しかった」「相手から感謝された」「友人や知人が増えた」と回答している。参加した学生たちの動機から分かるのは、ボランティア活動を自主的に参加していることである。本学の学生たちは、自主的と言うよりサークルの一環でボランティア活動を行っているのが現状である。しかし、2年間のボランティア活動を経験した学生たちは、ボランティア活動を「経験の場」「学びの場」「成長させる場」「人との関わり」の場」として捉えている。地域や社会に出ることで、他者と向き合いながら気づきや発見が生まれ自身を大きく成長させる場になっていると考えられる。ボランティア活動は司書に欠かせない奉仕の精神を磨くことができる活動として大きな意義を有すると考えられる。

## 6. 今後の課題

福岡県は、令和2年度の新学期始まって「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」を発出し、公共機関、学校等が臨時休館、休校となった。そ



の後も、地域における諸々の活動は原則中止や延期で自粛となりボランティア活動も中止を余儀なくされた。ボランティア活動は、人と人とが助け合い支え合いながら交流し基本的には対面で行われる。情報司書フィールドは、保育所、幼稚園、特別養護老人ホームを中心にボランティア活動を行っている。令和3年度でのボランティア活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止に十分配慮しながら、保育所や幼稚園と相談しつつ人数制限を設けながら行った。しかしながら、特別養護老人ホームは高齢者施設のため入所者とご家族の面会も制限されておりボランティア活動は自粛となった。オンラインで配信するという可能性もないわけではないが、お互いの顔を見ながら演じることが大切なのではないかと考えているので、当分の間はやむを得ないと思っている。

新型コロナウイルス感染症は先が見えず長期にわたる可能性もぬぐえない。しかし、ボランティア活動を経験した学生たちの感想から分かるように、「楽しかった」「人の優しさに触れた」「新鮮な経験になった」と感じている。ゆえに将来司書を目指す学生たちにとってこのボランティア活動は大きな意義を有すると考えられる。暫くは、新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりと行い世の中の状況を鑑みながらボランティア活動を継続していく。

## 謝辞

この研究にあたり、アンケート調査に快く回答いただきました本学の表現学科情報司書フィールドの学生たちに深く感謝申し上げます。

(注1) 梅野智美・澁田萌共著「読み聞かせボランティア活動報告～学生のアンケート調査分析を通して～」『九州大谷研究紀要』第47号

(注2) 前掲注1

(注3) 国立青少年教育振興機構「大学生のボランティア活動等に関する

調査」

<https://www.niye.go.jp/kanri/upload/editor/142/File/zentai.pdf>

(2021.9.10現在参照可)

## ボランティアアンケート（1年生）

あてはまるものに○をつけてください。（前問）

① ボランティア活動に関心がありますか？

- ① 大いにある      ② ある      ③ あまりない      ④ まったくない

② ①で「ある」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

③ ①で「ない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

④ ボランティア活動をしたことはありますか？

- ① ある      ② ない

⑤ ④で「ある」と答えた人はどのようなボランティア活動をしましたか？（自由記述）

⑥ ④で「ない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

⑦ ボランティア活動したいと思いますか？

- ① 大いに思う      ② 思う      ③ あまり思わない      ④ 思わない

⑧ ⑦で「思う」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

⑨ ⑦で「思わない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

以上、ご協力ありがとうございました。

## ボランティアアンケート（2年生）

あてはまるものに○をつけてください。（前問）

① 1年間のボランティア活動に参加して良かったですか？

- ① 良かった      ② どちらかと言えば良かった      ③ どちらとも言えない

- ④ どちらかと言えば良かった      ⑤ 良かった

② ①で「良かった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

③ ①で「良かった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

④ 今後もボランティア活動を続けますか？

- ① はい      ② いいえ

⑤ ④で「はい」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

⑥ ④で「いいえ」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

⑦ ボランティア活動はこれからの学生生活に役立つと思いますか？

- ① 大いに思う      ② 思う      ③ あまり思わない      ④ 思わない

⑧ ⑦で「思う」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

⑨ ⑦で「思わない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

以上、ご協力ありがとうございました。

## ボランティアアンケート（2年生）

あてはまるものに○をつけてください。（後問）

① 2年間のボランティア活動に参加して良かったですか？

- ① 良かった      ② どちらかと言えば良かった      ③ どちらとも言えない

- ④ どちらかと言えば良かった      ⑤ 良かった

② ①で「良かった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

③ ①で「良かった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

④ 今後もボランティア活動を続けますか？

- ① はい      ② いいえ

⑤ ④で「はい」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

⑥ ④で「いいえ」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

⑦ ボランティア活動はこれからの社会生活に役立つと思いますか？

- ① 大いに思う      ② 思う      ③ あまり思わない      ④ 思わない

⑧ ⑦で「思う」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

⑨ ⑦で「思わない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

※あなたにとってボランティア活動とは何でしたか？（自由記述）

以上、ご協力ありがとうございました。